



今月の表紙は、8月16日(土)に行われた第12回「こうた夏まつり」の町民総踊りでの写真です。昼間はかなり気温が上がりましたが、涼しくなった午後7時30分に踊りが始まり、1時間ほど老若男女が盆踊りを楽しそうに踊っていました。

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)  
FAX63-5139

## 幸田の民話

### 「かや堂の観音さん」

菱池

岩堀の西、かや堂の地に、観音さんが祭られています。傍らの石には次のような文字が刻まれています。

天保八年八月 建之  
比叡山慈覚大師之略縁により菱池大沼の水を守らせ給う

かや堂十一面観世音 六りく信者

この碑から、ここに祭られているのは十一面の観音さんであることが分かります。そして、この観音さんは、菱池の水が、大水となって溢れ出し、周りの田畑を荒らしたりしないように、また日照りでも水に困ったりしないように、昔から守ってこられたことなどが分かります。

この観音さんを造られた慈覚大師さんについて、次のような話が伝えられています。

慈覚大師さんは、しもつけの国(栃木県)でお生まれになったとき、不思議なことが起きました。家の周りに紫の雲が立ち込め、お家を含み込みました。

この不思議な雲を見て、通りかかった、こうちというお坊さんが、「このお家になにかあるのですか」

と、お尋ねになりました。すると、「いま男の子が生まれたところです。」という返事でした。

こうちさんは、「お宅の子どもさんが大きくなったら、ぜひ私に預けてください。きっと立派なお坊さんにしてみせます。」とおっしゃいました。けれど突然の話なので家の人には返事をしませんでした。

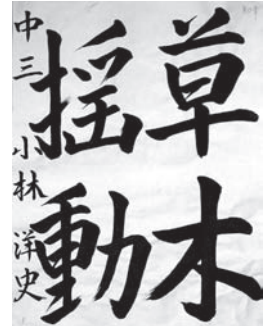
この子どもが大きくなって勉強を始めると、とても賢く、仏の道にも関心が深いので、父はお坊さんにしたほうがよいと考え、こうちさんに預けました。こうちさんは比叡山延暦寺の伝教大師最澄さんにお預けになりました。そして15のときに円仁という名を賜りました。

この円仁さんは、遣唐使の一員として仏教の勉強を12年もして帰り、慈覚大師という名前を賜り、延暦寺を代表するえらいお坊さんになりました。

かや堂の観音さんは、この慈覚大師円仁の彫られたものです。

(「こうたの民話」より)

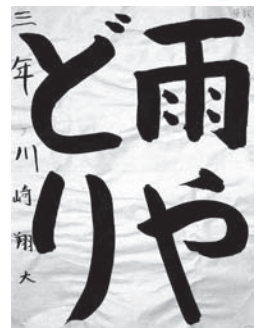
\*内容は要約してあります



【書道】

南部中3 小林 洋史 くん

## みんなの作品展!



【書道】

荻谷小3 川崎 翔大 くん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

「世界宇宙週間」とは国際連盟が定めたもので、毎年10月4日から10月10日までの1週間を国際レベルで祝っています。10月4日は、1957年に人類初の人工衛星「スプートニク1号」が宇宙に飛び出し宇宙探検の道を拓いた日であり、10月10日は、1967年に、いわゆる「宇宙条約」が発効した日でもあります。

近年、国際宇宙ステーションでの日本人宇宙飛行士の活躍などにより、宇宙への関心はますます高まっています。「宇宙の日」ふれあい月間」のイベントなどを通じて、より身近になってきた宇宙や宇宙開発を実感してみたいかがでしょうか。

## 9月12日「宇宙の日」

## 今月の記念日

1992年9月12日、宇宙飛行士の毛利衛さんが、スペースシャトル「エンデバー号」で宇宙へ飛び立ちました。この年は国連が定めた国際宇宙年でもあり、世界が協力して宇宙のことを考えた年でもありました。この国際宇宙年をきっかけに、日本でも宇宙をもっと身近に感じてもらうと、宇宙開発事業団(当時)などが、一般から「宇宙の日」を公募しました。その結果、毛利宇宙飛行士の飛び立った日が選ばれ、以後、9月12日は「宇宙の日」として定着してきました。



# 青春トークリレー

△△第186走者△△

まえだ みえこ  
**前田 美絵子** さん

大草区在住 23歳 保育士  
身長 157cm A型

好きなタイプ 包容力のある人  
好きな芸能人 Lead、山本裕典ゆづすけ

6歳の頃からの夢だった保育士になって3年目です。毎日大好きな子どもたちに囲まれて幸せです。笑顔で楽しく一緒に成長していきたいと思えます。

趣味は、外出することです。じっとしていることがあまり好きではないので、時間があるときは外出して気分転換しています。

動くことが好きなのでスポーツも大好きです。決して上手というわけではないですが、サッカー・野球・バスケットボールが好きです。最近やっていないので、久しぶりにやりたいと思っています。保育園では、子どもたちとサッカーをして楽しんでいることが多いです。やはり子どもたちと一緒に一番楽しいです。

▽お盆も過ぎ、やっと朝の涼しさを感じられるようになりました。  
好例の夏まつりも盛大に終わり、今から神社での秋祭りが楽しみです。  
早く涼しくなれ！

(T)

9月とはいえまだまだ暑い日が続きます。体に気を付けていきたいと思っています。今日この頃です。

(R)

## はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



### わんぱくぞう 「某月某日」 豊坂保育園

#### おばけ屋敷！の巻

豊坂保育園の夏の風物詩といえは『おばけ屋敷』例年、年長が小さい子どもたちを招待して行っているのですが、今年の年長児58人も伝統の『おばけ屋敷』を小さい子どもたちに楽しんでもらおう！ということになり、豊坂おばけプロジェクトがスタート！

おばけ屋敷に必要な物をみんなで考え、いろいろなおばけ、入場チケット、ごほうびのおばけ形メダルをグループに分かれて作り、準備万端。  
そして迎えた当日・・・

子どもたちも朝から大はりきり。いよいよ小さい子たちがお客さんとして来てくれ、子どもたちの気持ちも最高潮！

受付がチケットを受け取り出発です。おばけの子がいろいろなところに身を潜め「うらめしや〜」「おばけだぞ〜」と、ちょっぴり声色を変えたりして怖くもやさしく驚かす子どもたちでした。怖がっている子には「大丈夫だからね。怖くないよ」と。やさしく手を引いてあげる姿がみられ、子どもたちの成長にうれしく思ったひと時でした。おやつ後には年長が一人ずつ、大人が扮するおばけ屋敷に入り「ぜんぜん平気だったよ。」とたくましい姿も見られました。



58人の仲間と一緒に、一つ一つ経験を積み重ね、思いやりの心とたくましい身体が育ってくれるとうれしいと思っています。

### ちびと編集者の わんぱくぞう

▼楽しかった夏休みも終わり、2学期のスタートですね。夏休み中に充電したパワーでやっていきましょう。スタミナ切れにならないように！

家の前の川で子どもたちとザリガニや魚を捕まえていたら、ハンター息子が砂の中からシジミを見つけました。(私も前の川で初めて見ました。)下の娘も兄に負けじと網を動かしていましたがなかなか捕まえることができません。くやしくて泣きそうになった時、何かを捕まえました。「これなに？」と娘。「川エビじゃんか。なかなかおらんぞ。」と兄。エンジンのかかった娘はそれから延々と網を動かし続けていました。